

山形県の古木・名木 No.46

細野かぶと松 (ほそのかぶとまつ)

西置賜郡白鷹町大字滝野字細野森ノ上

樹高 8.4 m、目通り幹周 3.8 m、枝張り下直径 13.6 m。昭和 49 年 5 月 30 日、町指定天然記念物に指定された。

上杉藩主は代々白鷹山に登り虚空菩薩に参拝した。中山口あるいは小滝口から登り、帰路は細野越えをして別当の大蔵寺に寄った。文政年間、時の藩主が参詣の帰途、御休場で小休止した際、右手にかぶとを置いたようなこの松の大樹を眺め、「かぶと松」と賞賛したという。その後、誰言うともなくかぶと松の名で呼称されるようになった。
〔山形県みどり推進機構〕

(案内略図)



【森林やまがた70号(2003年1月)記載】